

[illegible]

大分県には、山や海の優れた風景地がたくさんあります。阿蘇くじゅう国立公園など国立公園が2つ、国定公園が3つ、県立自然公園が5つと、数多くの公園があり、その総面積は約17万ヘクタール、大分県の全面積の28%にも及びます。これは全国で面積、割合ともに6位であり、大分県は全国的にも景観の優れた豊かな自然に恵まれた県であると言えます。

大分県では、その豊かな自然を保全するために、県内各地の優れた自然環境の学術調査を実施しています。地形、気候、水質、植物、昆虫、水生動物、鳥類、ほ乳類などの様々な分野の現況を調査して報告書にまとめ、保全についての課題や提言を行っており、平成18年度には坊ガツル地域の学術調査を行いました。また、それぞれの報告書を基にカラー写真などでわかりやすく紹介した自然ガイドブックも発行しており、この坊ガツル地域のガイドブックで13冊目になります。

さて、坊ガツル地域は、大船山、平治岳、三俣山、立中山など、くじゅう山群を代表する山々に囲まれた盆地です。周囲の山からの豊かな湧水に恵まれ、湿原や草原、川、さらにそれらを取り囲む林が一体となった美しい景観は多くの人々を魅了してきました。初夏には新緑の草原に山頂一帯のミヤマキリシマの紅が鮮やかに映え、秋には一面のヨシヤススキの銀白色と山々の黄色や紅の紅葉がみごとに調和し、冬には幻想的な雪景色が私たちに感動を与えてくれます。またリュウキンカ、シラヒゲソウなどの希少な植物の生育も確認されており、平成17年11月に、国際的に重要な湿地やそこに生息する野生生物の保護を目的としたラムサール条約にタデ原湿原とともに登録され、「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」として、その重要性が世界的に認められました。

この自然ガイドブックをご覧になり、坊ガツル地域のすばらしい自然に興味を持っていただき、この自然を子どもたちに、代々引き継いで行くにはどうすればよいのか、考え、行動する機会にしていいただければ、と願っております。

最後に、この自然ガイドブックを作成するに当たり、ご尽力いただいた大分県自然環境学術調査会の皆様、竹田市、九重町の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成19年10月

大分県企画振興部長 佐藤 健

も く じ

ごあいさつ

◆くじゅう坊ガツルのプロフィール 2

くじゅう坊ガツルの自然

- ◆くじゅう坊ガツル地域の自然景観…………… 4
- ◆くじゅう坊ガツル地域の地形・地質…………… 6
- ◆くじゅう坊ガツル地域の気候・水文…………… 8
- ◆くじゅう坊ガツル湿原の水環境…………… 10

くじゅう坊ガツルの生物

- ◆くじゅう坊ガツル湿原の植物群落…………… 12
- ◆くじゅう坊ガツル湿原の植物…………… 14
- ◆くじゅう坊ガツル湿原周辺の自然林…………… 16
- ◆くじゅう坊ガツル地域のこけ植物・地衣類群落…………… 18
- ◆くじゅう坊ガツル地域の陸生昆虫…………… 20
- ◆くじゅう坊ガツル地域の水生動物…………… 22
- ◆くじゅう坊ガツル地域の野鳥…………… 24
- ◆くじゅう坊ガツル地域のほ乳類…………… 26

くじゅう坊ガツルの自然を考える 28